

やまのべ総合戦略 事業評価シート

資料 2

令和5年度分

【担当：産業課商工観光係】

分野	① 雇用をつくる
基本目標	② 高い技術と県都近郊のメリットを生かす活性化
基本的方向	日帰り圏であることを活かした観光・交流の増加

事業名	山形連携中枢都市圏 DMO 構築による広域観光促進事業			
事業概要	<p>1 山形連携中枢都市圏(7市7町)ブランディング事業 山形連携中枢都市圏の7市7町を1年間通して楽しめる観光圏として PR し、選ばれる観光地としての素地を作ることで7市7町のファンを増やし、観光を通じた交流人口の増加につなげる。</p> <p>(1) 観光ポータルサイト「VISIT YAMAGATA」運営事業 (2) やまがた巡り観光デジタルマップの運用</p> <p>2. 観光地統計調査事業 取得したデータを観光戦略に生かすことのできる人材の育成を図り、職員による内製化を目指すことで予算の硬直化を解消する。</p> <p>(1) デジタルマーケティング内製化事業 (2) 観光地満足度調査 (3) グーグルマップの整備事業</p> <p>3. コンテンツ開発 (1) アドベンチャーツーリズム推進事業 (2) 地域課題と観光需要マッチング事業</p>			
事業費	総事業費(交付金以外含)	(a) 交付決定額	(b) 実績額	(c)=(a)-(b) 不用額
	284,000 円	142,000 円	140,456 円	1,544 円
事業経費内訳	項目		金額	備考
	DMOさくらんぼ山形負担金事業		284,000 円	
			284,000 円	
事業の実績・取組状況	<p><b>1 DMO運営事業</b></p> <p><b>(1) 観光地満足度調査</b> 7市7町(以下、「構成市町」とする。)の宿泊施設(32カ所)及び日帰り施設(37カ所)を対象とし、来訪者から観光消費額、満足度、リピーター率等の項目について Web アンケートによる調査を行った。当町は<sup>はなしごや</sup>噺館、山辺温泉で実施。</p> <p><b>【実績等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間：令和5年9月～令和6年2月</li> <li>・回収件数：1,738件</li> <li>・観光消費額：57,618円/人(交通費、宿泊費、お土産、飲食代等)</li> </ul>			

## (2) デジタル人材育成事業

Google Mapの整備によるデジタルマーケティング推進とデジタル人材育成を図るため研修会を実施。

### 【実績等】

- ・ 第1回MEO対策基礎研修（10月17日）  
Google Map等を活用した観光情報の発信、利活用のポイント等
- ・ 第2回MEO対策基礎研修（11月29日）  
GBPの拡充やアップデートの方法、GBPの活用について  
※GBP：グーグルビジネスプロフィール

## (3) 会議

### 【実績等】

- ・ 定例総会（1回）、幹事会（2回）ほか戦略会議、観光WG等を適時開催。

## 2 受入体制構築事業

### (1) アドベンチャーツーリズム推進事業

Instagramアカウント「山形ドライブ」の運用。

### 【実績等】

- ・ フォロワー数：1,047名、総投稿数：104件（モデルルート含む）
- ・ モデルルート：5投稿

### (2) アウトドア推進事業

メンバーのジャパンのフレンドエリア等と連携しアウトドア・スポーツツーリズムを推進した。

### 【実績等】

- ・ モンベルフレンドフェアオンライン夏・冬への参加等

## 3 観光誘客事業

### (1) VISIT YAMAGATA 運営事業

構成市町の観光スポットやイベント告知、さらに体験予約等の観光情報を提供するポータルサイトである「VISIT YAMAGATA」を運用した。

### 【実績等】

- ・ ページセッション数：1,150,078件
- ・ 記事掲載数：515件

構成市町のアクティビティやおすすめスポット等を紹介するInstagramへの投稿を行った。

### (2) 7市7町ブランディング事業

やまがた巡り観光デジタルマップの運用及び訪日旅行商品企画造成と販売事業

### 【実績等】

- ・ マップ情報の充実化：スポット登録数：258→475スポット※山辺町22スポット
- ・ 「山形の魅力やまもり！スタンプラリー」の実施
- ・ インバウンドを推進するため、在日外国人向け機関紙に観光PR記事の掲載等

KPI（重要業績評価指標）	指標	指標値			
		申請時点（R5.3）	目標値（R6）	実績値（R6.3）	備考
	観光客数	352,400 人	500,000 人	392,900 人	
本事業の効果について	評価	観光振興を戦略的に進めるにあたり、町の魅力、観光資源の PR、満足度調査やデジタルマップによる情報提供等、広域連携のスケールメリットが生かされたことは大きな効果であった。			
	② 相当程度効果があった				
本事業の必要性について	評価	多様化する観光需要に対応するため、広域連携のスケールメリットを生かした取組みが今後とも必要である。			
	② 事業継続				
今後の取組	<p>1 本事業の継続実施により町の魅力や観光資源、そして高品質な町特産品の情報発信、認知度向上を図る。また、観光分野のDX化に対応するために各種研修に参加しながら、デジタルを活用した効率的で効果的な観光振興につなげていく。</p> <p>2 本町の観光誘客圏とする構成市町エリアや仙台圏から日帰り圏内という優位性を活かしていくため、広域連携の中で積極的な情報発信に努めていくと共に観光客のニーズを踏まえ広域観光を進めていく。</p>				

有識者会議の意見	評価	(理由・意見)